

鹿児島県

1. 商品名等

商品名	YAKUSHIMA 和ドーナツ茶		
商品写真(イメージ等)			
商品説明(コンセプト等)	<p>屋久島の山地部は寒暖の差がありお茶の栽培には適している場所である。その環境を最大限に生かし、化学肥料を一切使わずに、山野草堆肥、油かす、魚粉などと大地に優しい自然肥料だけで栽培した大量生産していない希少性の高いお茶である。この茶葉の粉末を生地に練り込み半分を抹茶チョコレートでコーティングすることで、甘みを抑え、茶の風味を際立たせたドーナツに仕立てた。</p>		

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立屋久島高等学校	電話	0997-42-0013
住所	鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦2479-1	FAX	0997-42-0620
担当者	斉藤 武		
URL	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/yakushima/		
E-mail	Yakushima-sh@edu.pref.kagoshima.jp		
<p>本校は昭和23年に創設された島内で唯一の全日制高等学校である。創立当初からの大きな目標である、屋久島の将来を担う人材の育成はもちろんのこと、国際社会でも活躍できる有為な人材の育成を目指している。</p> <p>校訓である、「敬愛」・「互譲」・「協力」のもとこれまで多くの卒業生を輩出しており、来年度は創立73年を迎える伝統に根差した教育を行いつつ、時代の流れや生徒の実態に応じた学校経営を行っている。平成7年には『情報ビジネス科』を、さらに平成13年には普通科に『環境コース』を設置し、「世界自然遺産屋久島」の自然と環境を基盤においた教育活動を実施している。1島1校であるため、地域からの期待も大きく、サポートも力強く信頼も厚い。</p>			

3. 実施科目等

科目名	商品開発	単位数	2単位
対象生徒	情報ビジネス科3年	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

各連携先企業負担

5. 開発経緯等

屋久島の観光は1993年の世界自然遺産登録を機に最盛期を迎えていたが、その後は観光客の数も減ってきており、近年はほぼ横ばいの状況である。更に、今年新型コロナウイルスの影響で観光客は激減しており、町内の観光業界や関係する宿泊施設・飲食店等は大打撃を受けている状況にある。そこで、高校生が屋久島のことを真剣に考えて地域を盛り上げる為に活動している様子や、実践的な活動を通して少しでも明るい話題を提供し、地域の方々を元気に出来ないかと考えて、「屋久高発！！屋久島お助け隊」を結成することにした。商品開発やSNS等の発信で客離れを食い止め、コロナ収束後に、またすぐに活気を取り戻せるような状態にしたいと考えている。

「YAKUSHIMA 和ドーナツ茶」は屋久島のお茶の良さを広くPRすることを考えて、ドーナツと組み合わせて使用することを考案した。商品の開発にあたっては環境分析→開発テーマの意思決定→市場調査→コンセプトの立案→商品の仕様→試作品と手順を踏んで行った。「地域協働」をテーマにしている私たちは学校近くにある店舗と連携し、協力をいただきながら試作を重ねて完成に至った。文化祭での販売に向けて、広報活動も積極的に行い、Twitterでの発信や新聞・テレビ・ラジオと多くのメディアに取り上げていただき、パブリシティに繋げることができた。



店舗との打ち合わせの様子



生徒考案のパッケージデザイン



南日本新聞掲載

6. 販売形態・期間

①
・
無

文化祭
「凡我塔 ひらみ屋」(連携企業) 店頭

7. 協力者等

①
・
無

凡我塔 ひらみ屋
有限会社屋久島八万寿茶園

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

最近、屋久島のお茶は特産品として浸透しつつあり、今後、幅広い商品開発が展開できるのではないかと考えている。他にはない斬新なアイデアで商品開発を行い、外国観光客の多い屋久島の強みを生かして、世界中にPRできるような販売戦略を考えていきたい。